



こんなことあったよ! のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 7 月 30 日(木)
西目高校校外学習～能代学習ツアー～ 編

今年も「西目高校木育(もくいく)スクール 2009」の一環として、同校の農業と土木系の生徒 13 名と先生 4 名が夏休みを利用して「木材の利活用」を学ぶため、ワゴン車 2 台に分乗して能代までおいでになりました。木高研では、色々加工して建築・土木の分野で利用されている木材について佐々木先生から講義を受けたあと、実際に所内を回りながらサンプルに触ったり、実験を通して木の特性を学んだりしました。

その後、池田建築店で施工した秋田スギを使った木造住宅に向かい、池田さんから説明を受けながら内外を見学しました。この住宅は、超高断熱・自然エネルギーや地域産材の積極的な活用が評価され、「第 3 回サステナブル住宅賞」(建築環境・省エネルギー機構主催)で国土交通大臣賞を受賞しています。

昼食時間が 1 時間近くずれ込んでしまい、こちらの企画通りの「ご飯もおかずもいくらでもお代わり自由!」にはなりませんでしたが、お腹が一杯になって眠くなってしまいそうな時間帯は、常盤の毘沙門憩いの森公園で大学や地域の方々々が協力して造り、実際に使用されている木橋やウッドチップ舗装道を見学して「木のまちづくり」の一端を感じてもらいました。その後は、お約束のカヌー体験をして、木材の楽しい使い方をも身をもって知ってもらうことができました。

この後の夏休み中にも、炭焼きや間伐・枝打ち体験が由利本荘市で実施され、「わたし曲がっています」の製作講習会もあるようです。地域の山と人を結ぶこうした取り組みが継続し、西目高校ならではの伝統となっていくといいですね。

文: 渡辺 千明

秋田県立西目高等学校の HP : <http://www.edinet.ne.jp/~nishime1/>



大館樹海ドームや木橋・砂防ダムのような大きな構造物も木材で造ることができるというお話に興味津々。



色々な科学技術によって開発されているものがあることを見て、触って実感。



木のブロックで木橋造り。落ちないから乗ってみてとの先生の声に、自分で組み立てた橋に恐る恐る乗ってみました。



熱と水分で変化する木材の性質を利用した曲げ木技術の学習やイベント用模型の手触り・足触りを体感。



前日までの雨が上がり絶好の常盤日より。今年もカヌーは大盛り上がりでした。

